



プログラム

・小林 伯裕会員

テーマ「比叡山延暦寺について」

今日は「比叡山延暦寺について」ということでお話したいと思います。

まず歴史からお話すると、延暦7年(788年)に伝教大師最澄という方が、現在の根本中堂というお堂の前身となる、一乗止観院というお堂を作ったところがスタートになります。

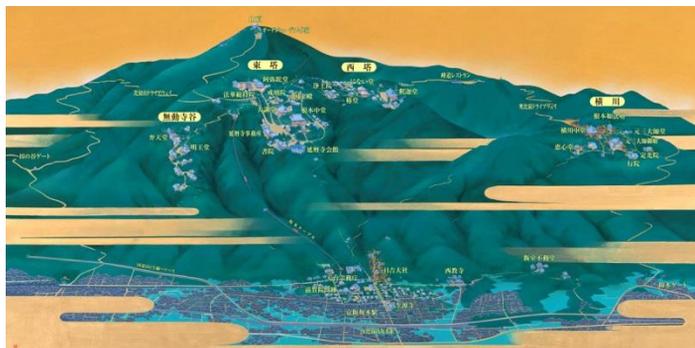
そして延暦25年(806年)に天皇の勅許により、年分度者という1年間に僧侶になることが出来る人数枠が2名割り当てられ天台宗が成立します。

さらに弘仁14年(823年)に、戒律を受ける重要な場所である戒壇の設立が認められました。

その後もいろいろとあるのですが、一気に飛びまして元亀2年(1571年)に織田信長によって焼き討ちされます。

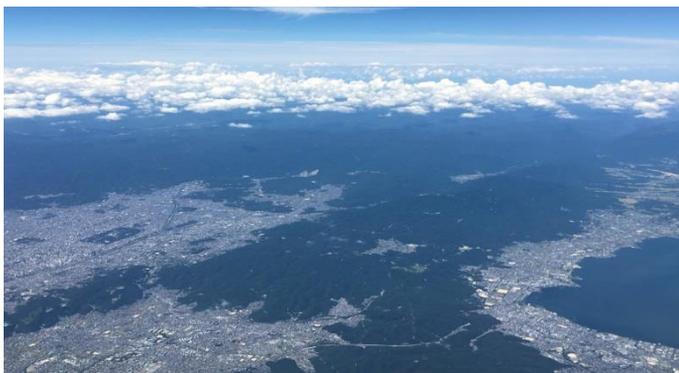
次に所在地と地区についてお話すると、比叡山延暦寺というのは全体の総称で、延暦寺というお堂があるわけではありません。非常に広大な敷地を有しており、京都府と滋賀県にまたがって存在します。

その敷地は東塔・西塔・横川という南北に延びる3つの地区に分類されます。



一番中心となる根本中堂があるのが東塔、修行のエリアであり釈迦堂というお堂がある西塔、一番北の外れで横川中堂というお堂があるのが横川となっています。

比叡山に上がるルートとしては、南北に抜ける有料のドライブウェイ、滋賀県側・京都府側にそれぞれあるケーブルカー、または千日回峰行の修行者が歩く道を含めた登山道の何れかになります。➤



この写真は帰りの飛行機内から撮影できたのですが、真ん中の山の右側が滋賀県大津市と琵琶湖、左側が京都の町並みで、街の中央に見える緑の区画が京都御所です。この京都と滋賀の間にある山の、京都御所から見て北東、いわゆる鬼門の方角に延暦寺があります。中腹には星野リゾートのホテルもあります。

先程の3つの地区の話に戻りますと、東塔には中心となる根本中堂をはじめ大講堂、戒壇院、阿弥陀堂、法華総持院、灌頂堂といったお堂が立ち並びます。ここが一番の中心となる地区ですので大体の参拝者はこの地区に最初に訪れます。各地区間の距離がそこそこあるののでここだけ見て帰る方もいらっしゃると思います。

現在の根本中堂は、徳川家光によって再建された江戸時代の建築物です。延暦寺内に残っているほとんどの建物は焼き討ち後のものになります。こちらは平成28年から10年間の大改修に入っており現在工事中です。

根本中堂は、一般客が参拝する外陣という場所に比べて、僧侶が読経を行う内陣という場所が3m程低くなっています。これは天台宗独特の造りで、もともとは山内の湿気や積雪でお堂が痛むのを防ぐために、その周りに覆い堂を作ったことから始まります。

一般的にお寺にお参りに行くと自分よりも高い位置に本尊が安置されていると思いますが、こちらは、参拝する外陣の高さと本尊の高さが同じ高さになっています。これは、仏と我々に高低の差があるわけではないが、その間には修行で埋めなければいけない深い溝があるという思想的な意味合いも持った構造です。

次に西塔という地区は、中心となるのが釈迦堂というお堂になります。この釈迦堂は南北朝時代の建築物で、比叡山焼き討ちよりも前の時代のもので、もともとの釈迦堂自体は焼き討ちで焼失しているのですが、後に豊臣秀吉の命で麓の園城寺というお寺の弥勒堂というお堂を移築して現在に至ります。

この近くには居士林という一般の方の研修道場もあり、そこで研修をすると朝4時半から釈迦堂内で真っ暗な中坐禅をすることもできます。



釈迦堂正面の石段の上には、にない堂というお堂があり、写真の向って右側が法華堂、左が常行堂というお堂で、2つのお堂が回廊によって繋がっています。

この中は天台宗独特の修業をする場所で、まさにこの時も90日間お堂に籠もりっぱなしで修行をしている方がそれぞれ1人ずつ入っていました。⤵



そして延暦寺の中で一番の聖域になる浄土院です。ここは伝教大師の御廟所になります。浄土院は掃除地獄と言われる場所で、葉っぱ一つ落とさないほど掃除が徹底されています。この中には十二年籠山といって、12年間山から下りずに修行されている方がいらっしゃいます。



あまり観光の人が訪れる場所ではありませんが、この写真は瑠璃堂というお堂です。焼き討ち前は山内に約3000のお堂があったとされていますが、その中で唯一焼き討ちを免れたお堂と言われています。室町時代の建築物です。



続いて、横川地区の中心は横川中堂です。現在のお堂は昭和時代に再建されたもので、もとの建物は雷で焼失しました。下の石垣は穴太衆積みという積み方で、麓の穴太という地域に伝承されるものです。ア

8月1日から12月10日まで西塔の釈迦堂内陣を特別公開するというので、先日まで4日ほど説明員として比叡山に行ってきました。

釈迦堂内陣に一般の方にお入りいただいて拝観していただくのは釈迦堂の歴史的に初めての事です。堂内には神仏習合の形で、神社の神様や仏教の仏様などが祀られています。

この特別公開は、今年が千日回峰行の開祖である相応和尚という方の1100年の御遠忌に当たることと、33年振りとなる釈迦堂の本尊の御開帳が重なって実現しました。今後このような機会は恐らくないかと思われます。

最後に私が感銘を受けた伝教大師の言葉に、「悪事を己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」というものがあります。

自分を優先するのではなく人のために尽くすという精神が、ロータリーの「超我の奉仕」の精神に通じるものがあり、私にとって非常に大切な言葉となっています。

会長の言葉

・木村 由美会長

本日の内部卓話、比叡山に行っているかのような感動を受けました。今もお堂に籠って修行をしている人がいると聞き驚くとともに、自分が10年間そこに籠って修行をしたならどのような顔になっているのだろうかという一人思いを馳せていました。

比叡山にいつか行きたいと思っています。

ニコニコBOX



・木村由美会員：小林会員の内部卓話、最高でした。本当に御苦労ありがとうございました。

・関場慶博会員：八木橋会員の10周年の祝賀会はとても素晴らしかったですネ。あらためて、おめでとうございます。小林幹事の卓話を楽しみにしています。

・三浦順子会員：八木橋さん、10周年おめでとうございます。すばらしい祝賀会でした！

・小林伯裕会員：久しぶりの卓話です。緊張しています。

・宇野純子会員：卓話楽しみにしてきました。

今回の出席報告

◆出席者
例会 8名

第205回E例会(8/23)の出席報告

◆出席者
例会 10名
MU 6名
計16名
修正出席率 51.61%

会員数 : 31名 (出席義務 : 31名 ・ 出席免除 : 0名)